

I 第44週の発生動向 (2016/10/31~2016/11/6)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で**注意報**が**解除**されましたが、今週も県内の全保健所の中で定点当たりの患者報告数が最も多くなりました。
3. インフルエンザの患者報告数は14人で、そのうち9人が八戸保健所管内でした。迅速診断キットによる型別は、14人すべてがA型でした。
4. マイコプラズマ肺炎については、むつ保健所管内で患者報告数が減少しましたが、依然として報告数が多い状態が続いています。

II 第44週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減																
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																	
小児科 内科	インフルエンザ															14	0.22	14													
小児科	RSウイルス感染症															8	1.00	4	0.44	4	0.40	8	1.60	13	2.17	1	0.25	38	0.90	1	
	咽頭結膜熱															3	0.38	2	0.22	1	0.10	2	0.40					8	0.19	-2	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎															12	1.50	17	1.89	21	2.10			2	0.33	2	0.50	54	1.29	3	
	感染性胃腸炎															37	4.63	36	4.00	20	2.00	8	1.60	1	0.17	4	1.00	106	2.52	7	
	水痘																			2	0.20					2	0.50	4	0.10	1	
	手足口病															2	0.25	11	1.22	1	0.10	1	0.20	7	1.17	1	0.25	23	0.55	4	
	伝染性紅斑																							3	0.50			3	0.07	0	
	突発性発しん															6	0.75	3	0.33	7	0.70	1	0.20	2	0.33	1	0.25	20	0.48	1	
	百日咳																														0
眼科	ヘルパンギーナ															6	0.75	2	0.22	3	0.30	4	0.80	11	1.83	1	0.25	27	0.64	1	
	流行性耳下腺炎															9	1.13					5	1.00			5	1.25	19	0.45	-11	
基幹	急性出血性結膜炎																														0
	流行性角結膜炎																					1	1.00	2	1.00			3	0.27	-8	
	クラミジア肺炎																														0
	細菌性髄膜炎																														0
	マイコプラズマ肺炎																			3	3.00					13	13.00	16	2.67	-2	
無菌性髄膜炎																														0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																														0	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

アメーバ赤痢 (五類全数把握疾患)

アメーバ赤痢は、赤痢アメーバ (*Entamoeba histolytica*) の感染に起因する疾患です。

病型は腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症に大別されます。腸管アメーバ症は、下痢、イチゴゼリー状の粘血便、しぶり腹などの症状を伴う慢性腸管感染症です。腸管外アメーバ症は、アメーバが血液にのって腸以外の臓器に侵入することにより発症し、肝臓にうみがたまることが多くみられます。

全国では2011年から2014年にかけて増加が続き、2014年には1135人の患者が報告されましたが、2015年は僅かに減少し、1109人の患者が報告されました(図)。2016年は第43週までに930人の患者が報告されています。青森県では、最近5年間は、増加傾向にあり、2015年に最も多い12人の患者が報告されました(図)。2016年は第44週までに4人の患者が報告されています。4人の病型はいずれも腸管アメーバ症でした。

アメーバ赤痢は、生水、氷、生肉、生野菜などから感染する可能性があります。食事の前には十分に手を洗い、十分加熱調理してあるものを食べましょう。

○詳しくはこちらをご覧ください→[厚生労働省\(アメーバ赤痢\)](#) [厚生労働省検疫所\(アメーバ赤痢\)](#)

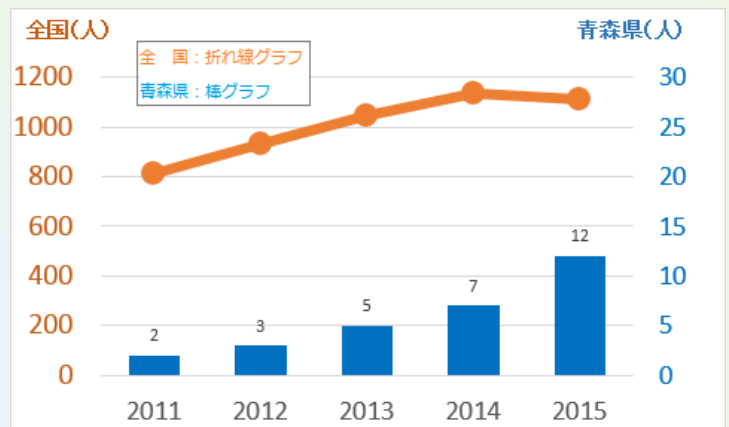


図 全国と青森県内のアメーバ赤痢患者報告数 (2011~2015年)

III 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸2人、むつ1人 (2016年計:250人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計：96人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患)：五所川原1人 (2016年計：6人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

無菌性髄膜炎患者 (髄液、10/7) ・ ・ ・エコーウイルス 18型：青森市1人

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第41週～2016年第44週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	H28.10.10 ~ H28.10.16		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 梅毒1人	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23	後天性免疫不全症候群1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 梅毒1人			
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		細菌性赤痢1人 アメーバ赤痢1人			
44	H28.10.31 ~ H28.11.6	腸管出血性大腸菌感染症1人			レジオネラ症1人		

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016年第41週～2016年第44週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	H28.10.10 ~ H28.10.16		2	1		1	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23	2		1	1	1	
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	4		1	2		
44	H28.10.31 ~ H28.11.6		1	2			1

VII 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第43週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	19873	9	106	3233	50	17	320	244	18	4
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	9	53	1	13	110	309	243	9
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	4	44	8	1332	69	951	237	1246	649
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	13	148	421	1208	57	252	38	2080	247	3684
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症				
累積報告数	108	105	47	113	143	32				

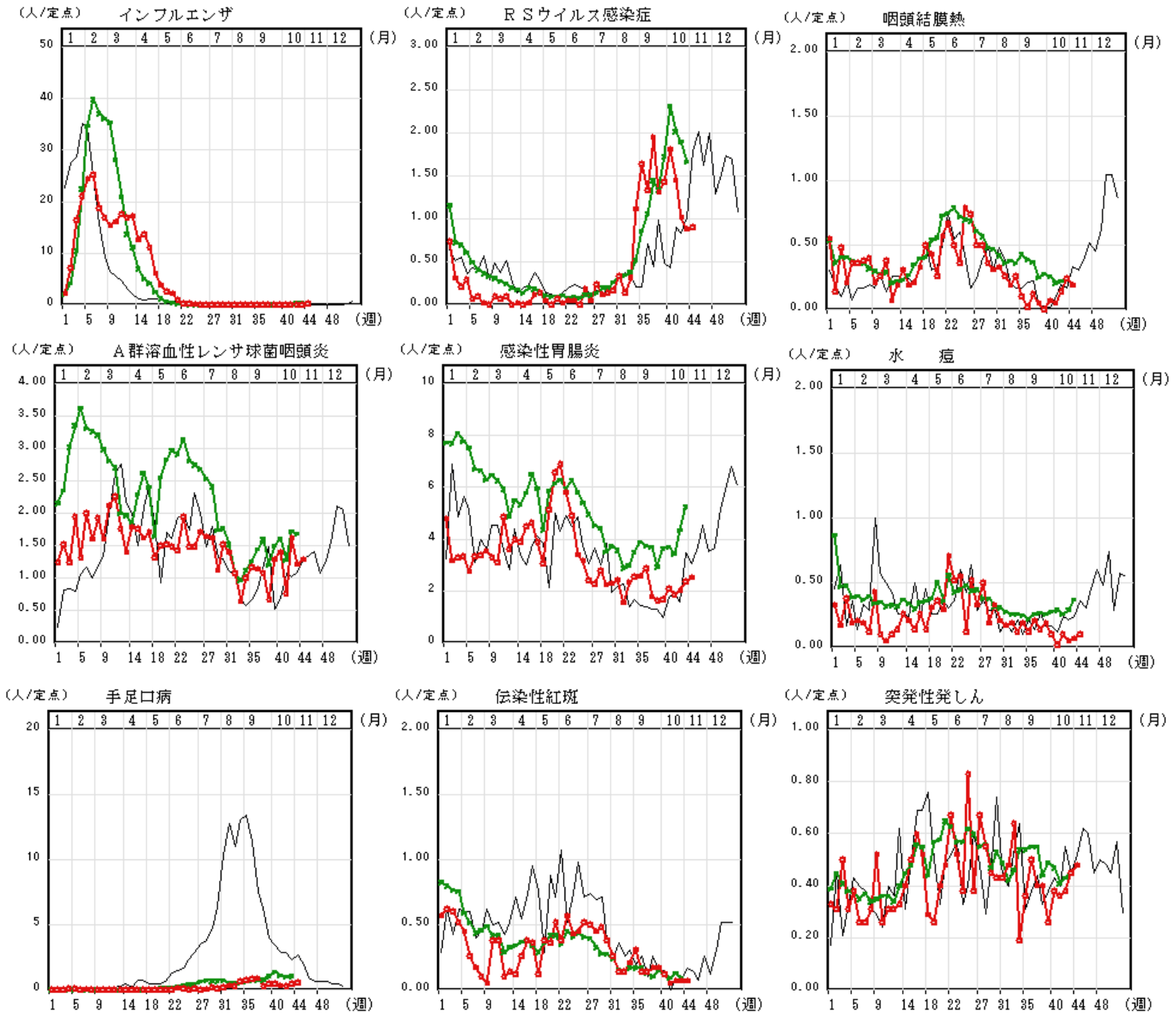
青森県 (2016年第1週～第44週累計)

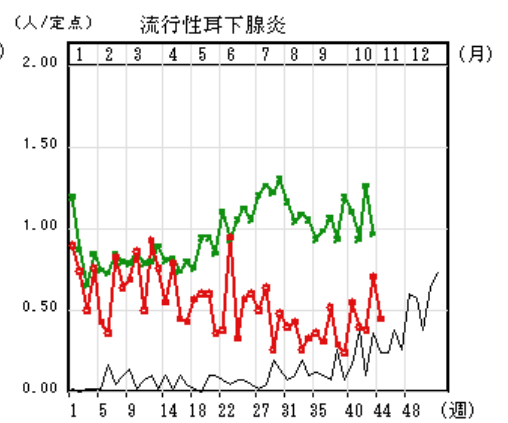
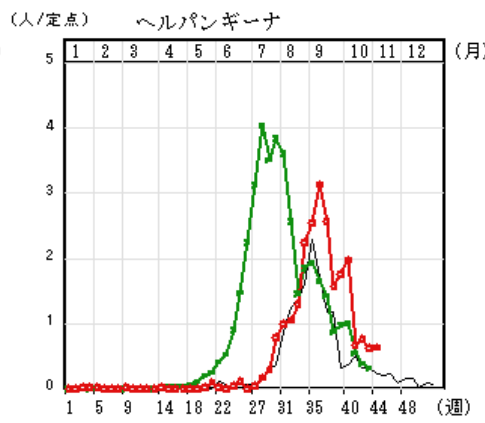
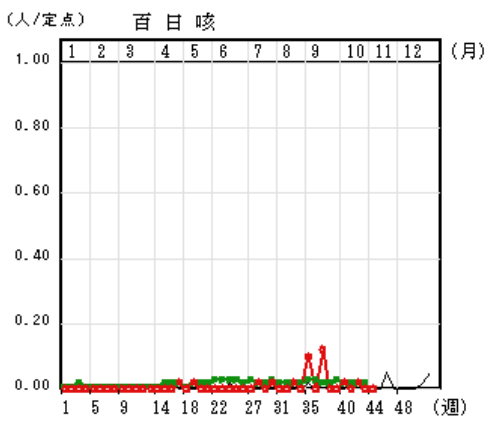
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	250	2	96	5	3	1	7	6	4	14

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	3	3	3	8	3	18	1

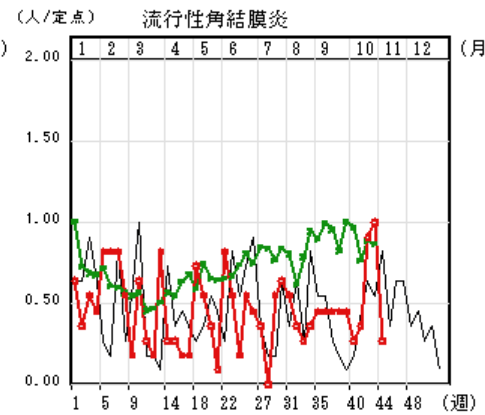
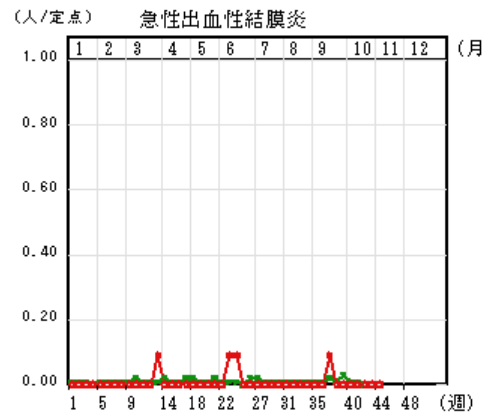
VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第44週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、—は2015年青森県、×—×は2016年全国

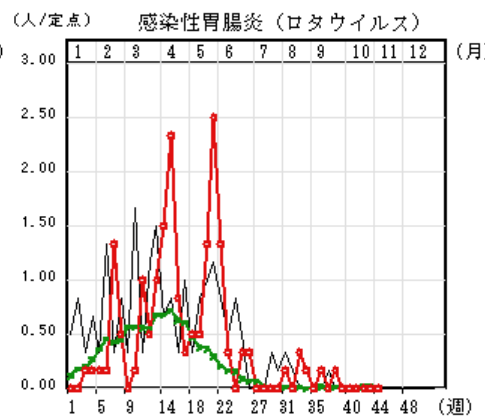
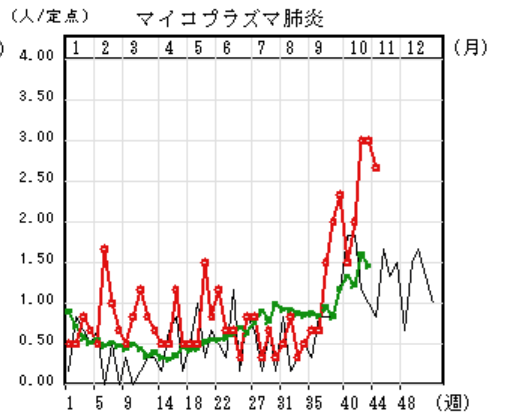
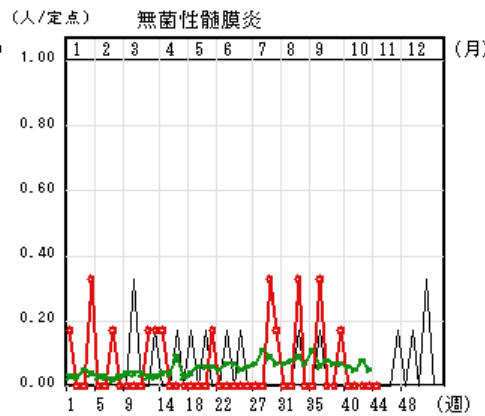
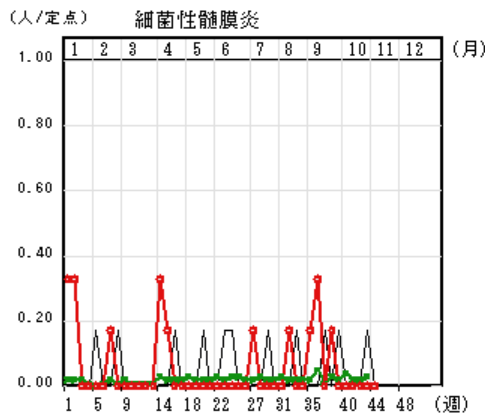




IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第44週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第44週、ただし全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第44週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	0	308